

寺報

龍正寺

日なた 134号



龍正寺門前にて

<令和 元年 7月>

宝龍会
護持会

後職一言(新盆)

お盆を迎える季節になりました。

御先祖様が各々の家庭に帰って来られます。家族揃ってお迎えいたしましょう。

今年のお盆は個人的な事ですが、私の兄弟子が、長い闘病生活で老衰でそくなり、小僧に入ってから生活を共にし、数多くの思い出が浮かび、そくなりた事は寂しさを感じますが、今までありがとうの感謝の気持ちでいっぱいです。

また、檀信徒で仏様に手を合せ、後職の手助けをし布教活動をして下さった方が、若くして突然亡くなり、私としてはゆえに亡くなりた事が受け入れられず、思いに老ける事があり、自分自身人の亡くなりた事の受け入れられる気持ちと、受け入れられない気持ちがある事に気が付く事が出来、今までにない心の引き締まるお盆です。

旧い新盆であります。亡くなられた
方々の思い出を手繰り寄せながら盆の供
養いたしたいと思っております。

本堂の前では今年もお盆に合せた如
く、蓮の花が咲き初め葉も大きく立
派に育ってくれました。皆様方の心の癒
しになればと思っております。

最後の運動会 月

気温の差があり、私の周りでも体調を崩している方もみえますが、皆様も体調管理に気を付けて下さいね!!

先日、小学校で運動会が行われました。練習中に熱中症で倒れた子がいたこと、テレビで放送される中、いろいろな対策を行い、晴天の中、一人の体調不良も出る事なく無事に終わらせた事に感謝しています。

我が家には3年生と6年生、2人の小学生がいます。6年生の息子は小学校最後の運動会...応援団長に選んでもらい、精一杯頑張りました。毎日遅くまで応援合戦の練習、先生からのやることリストが机の上に見貼ってあるのを見て、想像以上に大変なお役だと実感しました。開会式、閉会式の言葉や動きの確認もそのひとつでした。家では一度も練習する姿を見せたことはありませんでしたが本番は堂々とした姿を見せてくれて感無量の我が子の成長を感じ、感謝の気持ちで一杯になりました。

運動会前は体も心も疲れていた様子でイライラしていたり、言葉数が少なくなったりと、家でのサポート

も大変でしたが、仲間を支えられ進む姿に、こちら
も何とか頑張ることができました。習い事も数回
お休みしました。一昔前の私なら夕方、その大変さに
気付かず、習い事もやると決めて、事だからと体調
不良以外のお休みも「ノー!!」と言っていたと思いま
す。今は何が一番大切なのか？そこに到達する
ための手段はいくつもあります。その手段ですら、私
が思うことを押しつけていたのかも知れないと今に
なっています。

6年生になり、少しですが反抗期に入りつつある息
子ですが、いつも見守りながらサポートしてきていると思
っています。

運動会の結果は見事、競技も応援も優勝しま
した!! 相手の団長さんもとても仲のいい友達なの
で、両方とも勝ったのが少し申し訳ない気持ちで
いましたが、息子もそう思ったのか大興奮という
感じではありませんでした。それも息子のいい所
だと私は思っています。

この経験を生かして、残りの学校生活を楽し
んでほしいと願っています。

『心を育てる』(やさしく・正しく・つよい心を育てる)

この前、お寺の事務室に「ブッタがせんせい」という本がありました。御住職に伺うと、仏教伝道教会より配布された本との事でした。

「子供向けの本なんだな〜」と思いながら手に取り読んでみると、フ〜ン、そうか、そういう事か…と声を出していました。あ、という間に63ページ読み終わりました。本には項目が32項目ありました。この項目がどれだけ実践出来ているかと自分自身をみつめると、はすかしいほど出来ていませんでした。

“この本は決して子向けの本ではない!! 大人でも充分学ぶになる、わかりやすい本だ。”

御住職に、「このような素晴らしい本を事務室の片隅に置いておくのはもったいないですね。」と伝えると、「そうだね。皆さんにお伝えしたい事ばかりですね。」と言われました。そうだ!! 「読みました。」だけでなくブッタのお教えの項目をひとつでも実践して心を育てていきたいと思いました。

御住職に、朝・夕の日参時に“この本の項目を1項目ずつ読みませんか？”と声をかけさせて頂きました。すると、

「素晴らしいですね。日々心身の鍛練になりますね。」と言われました。

そして今、毎日読誦しとくほう…声に出して読む事)しています。

すると不思議な事に、その日の出来事か、必ずその日読誦した項目にあてはまります。それはその日の目標だったり、反省だったりします。

このような毎日の積み重ねの中で、心か育、ていくのではないでしょうか？心も育てるのは年齢は関係ありません。いつからでも遅くありません。

気がついた時がはじまりの時、これからの人生にとって大きな力、幸せに繋がる本だと確信しています。

皆様も是非、読んで見て下さい。

「大事なことを忘れていました」

聖徒タイムズを読んでいる時、紙上法話のコーナーの所に目がとまりました。

内容としては映画を通して考える食と命の関係です。

詳細は、小学校で豚を世話をし、最後には、食べるか、食べないかを子供達で話し合いをさせる、という物語です。

「生き物を食べている現実を知る」
私達は物を食べずには生きられません。
他の命を、自らの命の糧としている現実。

近年、小中学校の給食において「いただきます」を言わない学校があると聞きます。

「給食費を払っているのだから『いただく』わけではない」という論理からごさうです。

その内容を見て「いただきます」を言わない人もいるのかと、自分の事を振り返る

と、一人なので「ご飯食ふるとき、「いただきます」
を言、て「よい事に気がつきました。」

今でも忘れてしまう事が多いのですが、私達は、
他の命をいただいて生かされているので、感謝
の言葉を言うのは当たり前です。その当たり前
ができるように、意識していきます。

食法

天の三光に身を温め、地の五穀に
精神を養う。

皆これ本イムの慈悲なり。

たとえ一滴の水、一粒の米も、

< 7月の行事予定 >

7月7日(日) 13:00~

盂蘭盆施餓鬼大法要
宗祖日蓮大聖人報恩会

18日(木) 10:00~

{ 鬼子女尊神
七面大明神 } 祈禱会
大古久尊天祈願会

< 7月の住職予定 >

7月7日(日)

盂蘭盆施餓鬼大法要 当山にて

7月13日(土)~15日(月)

7月盆

7月15日(月)

早稲1時送り盆

< 7月の予定 >

7月1日(月)

各々の時間で

清掃. 準備活動

↓

5日(金)

↓

↓

6日(土)

10:00~

飾り付け

11日(木)

各々の時間で

清掃. 準備活動

↓

17日(水)

↓

↓

11月17日(日) 龍正寺田参(身延山久遠寺)の
申込が始まります。皆様お誘い合わせの上
沢山の方々のお申し込みをお待ちしています!!